

## 第4回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会（摘録）

【日 時】 令和7年11月27日（木） 14:00～15:30

【場 所】 北別館4階 第1会議室

【出席者】 検討委員会委員 14人（欠席1人）  
教育委員会事務局 7人

【次第】 司会：学校再編推進室主査

### 1 開会

### 2 議題

#### （1）第3回 大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会の摘録について

発言者	発言内容
委員長	<p>議題に入る前に、会議の公開・非公開について皆さんにお諮りいたします。</p> <p>本日の会議も前回同様、原則公開で進めたいと思います。ただし、状況によっては、会議の途中であっても、公開・非公開の取扱いを皆さんにお諮りすることもあります。このような取扱いでよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>そのように取扱いをいたします。</p> <p>それでは会議次第に沿って進めてまいります。</p> <p>本日の議題は、3つあります。</p> <p>会議の進め方ですが、初めに、議題（1）第3回検討委員会の摘録について、（2）第2期実施計画に係る進捗整理と今後の小学校の再編整備のあり方のまとめ、答申書（案）の検討及び作成について、協議を行った後に、休憩を挟んで、（3）議事のまとめに入ります。</p> <p>なお、議事のまとめでは、前回お知らせしたとおり、検討委員会に参加いただいていた感想など、何でも構いませんので、皆さんから各自一言ずつお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、議題（1）第3回検討委員会の摘録についてです。</p> <p>摘録については、事前に送付されていますので、既にご確認いただいていると思います。前回の会議でも申し上げたとおり、原則公開となっていますので、この内容に修正等がなければ、皆さんに承認いただいて、市の情報公開センター及びホームページで公表されることとなります。</p> <p>この内容でよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただいま承認されましたので、この内容で公表となります。</p> <p>署名委員の葉玉副委員長と西田委員におかれましては、会議終了後に署名をお願いします。次に進みます。</p>

#### （2）第2期実施計画に係る進捗整理と今後の小学校の再編整備のあり方のまとめ、答申書（案）の検討及び作成

発言者	発言内容
委員長	<p>議題（２）第２期実施計画に係る進捗整理と今後の小学校の再編整備のあり方のまとめ、答申書（案）の検討及び作成についてです。</p> <p>前回の会議で、答申の素案を私と葉玉副委員長で取りまとめ、皆さんに提示するとお知らせしていました。本日、これまでの会議でのまとめを基本に答申の素案を取りまとめましたので、お手元にお配りしております。</p> <p>それでは１つずつ、皆さんと確認を行っていききたいと思います。</p> <p>まず、１点目の第２期実施計画に係る進捗整理として、（１）白川小学校と平原小学校の再編についてのまとめです。</p> <p>白川小学校と平原小学校の再編については、平原小学校における児童数及び学級数が一定規模で維持されていることから、大牟田市立学校適正規模・適正配置計画における先行しての再編は見送り、今後検討される全市的な小学校の再編整備計画の中で改めて検討することが妥当であると判断しました。</p> <p>以上のまとめですが、ご意見等はございませんでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に（２）小規模特認校制度についてのまとめです。</p> <p>複式学級編制は、子どもたちや教員にとって負担が大きく、学校規模による教育環境の格差が大きく生じないようにするためにも、今後複式学級編制が見込まれる前に、全市的な小学校の再編計画を整備し、早急に学校再編整備を進める必要があると判断しました。</p> <p>それに伴い、今後は小学校の再編整備を進めていくことから、大牟田市においては、新たに小規模特認校制度は導入しないと判断しました。</p> <p>あわせて、上内小学校と玉川小学校については、小規模化の進行により、令和８年度以降、小規模特認校制度を継続しても複式学級編制が見込まれることから、今後は、再編に向けて保護者や地域と協議を始める必要があると判断しました。</p> <p>このようにまとめましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>ご意見等はございませんか。</p>
委員	<p>これまでにいただいた資料で、上内・玉川小学校の児童数や学級数の状況及び推計などを拝見し、上内小学校と玉川小学校は、令和８年度から複式学級編制となる見込みになっています。</p> <p>ですから、複式学級編制をできるだけ回避し、子どもたちの教育機会の均等を図るため、上内・玉川小学校について、保護者や地域の理解が得られた際には、全市的な小学校の再編整備計画に先立ち、迅速に再編に取り組んだ方がよいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>先ほど、上内小学校と玉川小学校については、小規模化の進行によって、令和８年度以降、小規模特認校制度を継続してもなお、複式学級が見込まれることから、今後は再編に向けて保護者や地域と協議を始める必要があるとまとめました。</p> <p>一方で、この後協議しますが、答申素案の２、今後の小学校の再編整備のあり方についての（１）では、新たな小学校の再編整備計画の策定期間を令和１０年度以降としています。</p>

	<p>このため、上内小学校と玉川小学校については、保護者や地域の理解が得られた場合は、小学校の再編整備計画に先行して、すぐにでも再編に取り組んだ方がいいのではないかとのご意見だったと思います。</p> <p>これは、従前から議論の中で出てきておりますが、やはり複式学級の回避が優先であるとのことだと思います。</p> <p>ただいまの意見に関連して、ご意見等はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>今のご意見に私も賛成ですが、この書き方でいくと、市としては、上内・玉川小学校について、いつ頃を目途にと考えてありますか。</p>
学校再編推進室長	<p>今のところ、小規模特認校制度を実施していますので、いつ再編するという計画はありません。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>そういうことであれば、ここに書いてあるとおり、複式学級編制を避けるためにも、先行して再編していくように、来年からというのは難しいとは思いますが、早急に地域の方々と協議し、短期間で実現できるように努力していただければと思います。</p>
委員長	<p>その他、関連して意見はございませんか。</p>
委員	<p>私も複式学級の経験がありますので、今まで子どもたちや教員の負担等でマイナス面があるという話をさせていただきました。</p> <p>委員が言われるように、できるだけ早く再編に取り組み、複式学級を回避することと、学校規模を揃えて、子どもたちが教育の機会を均等に得られる状況を作ることがすごく大切だと思います。</p> <p>勤務する小学校では3連休明けにインフルエンザが広がってしまい、子どもたちが半分休みで、担任も休んでしまったので、5年生のクラスに私が入って授業しました。もともと5年生は19人で、そのうち11人が休みだったので、残りの子どもは8人でした。そんな中で、人数の少ない中での授業の難しさ、やはり意見が出ない、深まらないということ为先週、今週は久々に肌で感じましたので、ある程度の人数がいるということが本当に必要なことだと感じています。</p> <p>ですので、いつというのはなかなか難しいと思いますが、できるだけ早く再編をと思っています。</p>
委員長	<p>賛同の意見が続きました。</p> <p>これも従前からずっと議論をしてきました。複式学級をいかに回避していくのか、あるいは教育の機会均等、学校規模での教育の格差をいかになくしていくのか、という議論をずっと行ってきましたが、まさに複式学級編制をできるだけ回避したいという願いだろうと思います。</p> <p>その他ご意見等ございましたら、どうぞ。</p>
委員	<p>毎回先生のお話は、実際に現場で経験なさった話を伺うことができるので、今の話も、本当に一番重要なところかなと思いながら、聞かせていただきました。</p> <p>それとは別に、小規模特認校制度について、本来通う校区ではなく、上内・玉川小学校を自ら選んで通っている児童も何人かいらっしゃると思います。</p>

	<p>そのため、今後、新たに小規模特認校制度は導入しないという場合に、現在小規模特認校制度により上内・玉川小学校に通う児童の居場所がなくなるのではないかと意見も、2回目の会議のときに出たと記憶しております。</p> <p>これまでとは逆の方向に舵を切る形になりますので、そういう児童と保護者のサポートもしっかりしていただけたらと強く願っているところです。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>受け皿については、第2回の検討委員会の中で、今後、小規模特認校制度を継続しないとなった場合、現在、上内小学校と玉川小学校に在籍している児童の居場所がなくなってしまうのではないかと懸念する意見が出されました。</p> <p>その意見を受けて、特認校に来ている子どもたちの受け皿について、子どもたちに寄り添いながら対応していただくよう要望したいというご意見でした。</p> <p>その他、関連して何かご意見はございませんか。委員いかがですか。</p>
委員	<p>議論の大きな筋が固まりつつあるところですが、第2回の会議で、教育サービスを求めて外から集まってきている、いわゆる特認校児童がいるということは、そういうニーズがあるということでもあり、そこに魅力を感じている児童や保護者がどういう受け止め方をされるか、慮るところではあります。</p> <p>市全体として教育のありようを考えていく場合に、新しい再編整備に踏み出すということであれば、そこについて細かな説明をしていただくと同時に、これまで特認校児童たちが求めていた部分を別の形で、システムと言うと語弊があるかと思いますが、その子たちの居場所というか、新たな学び、あるいは個別の学びを提供することも同時に考えていく必要があると思います。</p> <p>まちづくりは人づくりとともにということだと思いますし、一人ひとりを大切にすることということで、これまでも当時子どもたちが今現在あるのは先生方大変なご苦労と保護者や地域の方の支援もあって、現在の形ができていますと思いますが、子どもたちが、新たな学び、個別の学びを、別の形にせよ受けられるという見通しが少しでも立てばいいのではないかと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>第2回の会議の中で委員からご意見が出たときに、私は非常に悩ましい問題ですねと言いましたが、このときに事務局から、今いる子どもすべてを元の学校に戻すという対応ではなく、個別に保護者や子どもたちとしっかり意見を交わしながら、柔軟に対応するというコメントをいただきました。</p> <p>近年多様化する社会の背景に、多様な子どもたちへの対応ということで、学びの多様化が進められてきています。その1つとして大牟田市では、令和6年にほしぞら分校が開校しました。</p> <p>多種多様な学習機会の提供が子どもたちの居場所の確保に繋がっていくと私は思っています。ですので、特認校に在籍している子どもたちに限らず、こういうことが大事なことだろうと思います。</p> <p>前にも少し言いましたが、誰1人として取り残さないという、いわゆる</p>

	<p>SDGs の理念にあるとおり、学びの保障、しかも質の高い教育を提供するという目標を達成していこうという大きな流れがあるわけですので、そういったことが大事なことはないかと思います。</p> <p>その他、関連して、意見等はありませんか。</p> <p>ご意見等がなければ、ただいまいただきました 2 件の意見について、答申素案 1（2）の小規模特認校制度の最後に追記したいと思います。いかがでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>ご賛同いただきました。ありがとうございます。</p> <p>次に、2 点目の今後の小学校の再編整備のあり方についてのまとめです。</p> <p>まず、全体として次のようにまとめました。</p> <p>子どもの出生数の加速度的な減少や年少人口の減少に伴い、市内全域で小学校のさらなる小規模化の進行が見込まれています。このため、今後はこれまでの隣接する 2 校ないし 3 校間の再編にとどまらず、全市的な小学校の再編について検討し、新たな再編整備計画を策定する必要があると判断しました。</p> <p>市内全域を対象とする新たな小学校の再編整備を進めるに当たって、以下の 4 点について、審議を行いました。</p> <p>以上が全体のまとめですが、ご意見等はありませんでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に、（1）新たな小学校の再編整備計画の計画期間については、現計画である第 2 期実施計画の計画期間終了後の令和 10 年度以降から 10 年間とし、計画期間 5 年目をめどに中間見直しを行うと整理しました。</p> <p>そのため、令和 8 年度中に、市の財政計画や地域における学校の役割、地域コミュニティのあり方など、様々な観点からの行政内部の課題整理を行った上で、令和 9 年度に検討委員会を設置し、新たな小学校の再編整備計画について検討を行うと整理しました。</p> <p>このようにまとめましたが、ご意見等はありませんでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に、（2）適正規模・適正配置のあり方、考え方についてのまとめです。</p> <p>大牟田市における小学校の適正な学校規模については、子どもの教育環境上、また学校運営上、一定規模が必要と考えるため、第 2 期実施計画の考え方を踏襲し、12～18 学級（1 学年 2～3 学級）とすると整理しました。</p> <p>大牟田市における小学校の適正配置の目安となる通学距離については、徒歩通学を原則として概ね 3 km 以内とする。ただし、学校再編に伴い通学距離が概ね 3 km を超える場合は、登下校の安全確保及び負担軽減の観点からスクールバスの導入を検討することとし、スクールバスでの通学時間は概ね 1 時間以内とすると整理しました。</p> <p>以上のまとめでいかがでしょうか。</p>
全委員	異議なし。

委員長	<p>次に、(3) 学校の急速な小規模化の進行に合わせた迅速な再編が必要となる場合の再編の手法についてのまとめです。</p> <p>急速な学校の小規模化に対応し、子どもたちの教育環境を整えるためには、全市的な小学校の再編を迅速に行う必要がありますが、これまでの対等合併の手法により 2 年間の期間をかけて学校再編に取り組むのでは、再編計画の遅滞が生じるおそれがあります。</p> <p>今後は、学校の急激な小規模化の進行による状況の変化に迅速に対応するため、子どもたちの教育環境を至急整えることを第一に考えて、1 つの学校が存続し、他の再編対象校は閉校する吸収合併、いわゆる統廃合の手法をとる必要があると整理しました。</p> <p>このようなまとめでいかがでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>最後になります。(4) 再編を行った学校が再び再編の対象となる場合の再編の手法についてのまとめです。</p> <p>再編を行った学校が再び再編の対象となる場合についても、(3)「学校の急速な小規模化の進行に合わせた迅速な再編が必要となる場合の再編の手法」と同様に、1 つの学校が存続し、他の再編対象校は閉校する統廃合の手法を検討すると整理しました。</p> <p>なお、(3) 及び (4) により、統廃合の手法をとる場合であっても、存続する学校に閉校する学校が吸収合併されるという構図ではなく、存続する学校と閉校する学校とが一つになり新たな学校を創っていくという思いで、児童、教職員、保護者、地域の理解を得ながら、丁寧に取組まれるよう要望します。</p> <p>このようにまとめましたが、ご意見等いかがでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>以上で、教育委員会から諮問を受けた事項についての答申書案の確認ができました。</p> <p>最後に、教育委員会からの諮問事項ではありませんが、全市的な小学校の再編整備のあり方を検討するに当たって、小川町の通学区域の見直しについても審議を行いましたので、答申の最後に、検討委員会からの付帯意見として、次のように加えています。</p> <p>当委員会は、上記のとおり、第 2 期実施計画に係る進捗整理及び今後の小学校の再編整備のあり方について答申を行うものですが、全市的な小学校の再編計画策定に当たっては、諮問事項の枠を超えた以下の関連事項について、再検討することが必要であると判断しました。</p> <p>1 小川町の通学区域の見直し</p> <p>小川町については、松原中学校を再編せずに継続することとなったため、大正小学校及び松原中学校の適正規模及び通学路の安全確保の観点から、令和 9 年度に通学区域の見直しを行うこととされています。</p> <p>しかし、第 2 期実施計画策定時には予測し得なかった急激な少子化の進行により、通学区域を先行して見直しても、大正小学校及び松原中学校の適正規模が維持できないことが、児童・生徒数の推計から明らかになりました。</p> <p>そのため、小川町の通学区域を先行して見直す必要性が低くなっている</p>

	<p>と考えられることから、今後検討する全市的な小学校の再編整備計画の中で改めて検討することが妥当であると判断しました。</p> <p>以上、付帯意見としてまとめておりますが、何かご意見等があれば、お伺いしたいと思います。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>以上で、答申書案の確認がすべて終わりました。おかげをもちまして、答申のめどがついたと思います。</p> <p>今後の答申の最終的なまとめにつきましては、先ほど皆さんからいただいたご意見を踏まえ、私と葉玉副委員長で、追記修正をさせていただきたいと考えておりますが、私どもに一任いただくということによろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>ありがとうございます。それではここで休憩に入りたいと思います。</p> <p>なお、再開後は、お知らせしたとおり、皆さんから各自一言ずつ感想等をいただきたいと思います。</p>
	休憩

### (3) 議事のまとめ

発言者	発言内容
委員長	<p>本日最後の議題（3）議事のまとめに入ります。</p> <p>今回、この検討委員会に参加いただいたの感想など、何でも構いませんので、各自一言ずつお願いしたいと思います。</p> <p>できれば2分くらいにまとめていただければと思っております。</p> <p>座席表の時計回りをお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>今回このような委員会に参加させていただき、大牟田の事情がわかっていようでわかってなくて、子どもも少なくなっているということを表で改めて見ることができました。色々問題はあるのですが、児童数が減って、対応する先生方も減っているし、地域の人も高齢化して、そのフォローもできないというのが現状なのかなと、自分の地域を含めて改めて認識させられました。</p> <p>今後、再編して閉校になると何か寂しい気持ちもありますが、子どもたちが新たな気持ちで一步を踏み出せるような動きをとっていけたらと思います。私も微力ながら、PTA会長をさせていただいているので、引き続き何か協力していけたらと改めて感じたところです。</p>
委員	<p>貴重な機会に参加させていただき、普段話すことがない方たちと話ができてすごく光栄に思いました。</p> <p>御木中学校の再編に当たって、校名や校章を決める再編会議も2年続けて経験して、やはり再編はすごく大変でした。学校の中身の話になってしまいましたが、PTAの改革や、今までどおりではいけない事情というものもあり、大変な思いをしたので、全市的な見直しも一気に決めた方が、ちょこ</p>

	<p>ちょこするよりも、負担を感じる人は少なくて済むのかなと思いました。</p> <p>P T Aも自分の学校の色を出したいので、御木中学校が始まって1年目ですが、色々なトライアルをやってみて、何となく今からスタートできているという感じです。通常だと4月にスタートできるはずだったものが11月終わりにスタートなので、結構大変で、できるだけこのような負担を感じる人は少なくしていただきたいと思います。</p> <p>また、複式学級という言葉は聞いたことがありますが、実際何なのかはよくわかっていませんでした。先生の話聞いてわかったので、同じ保護者として、もう少し知る機会があってもいいのではないかと思います。</p> <p>上内小学校や玉川小学校ではこういうことをやっていますというお知らせは来ますが、文字で見てもわからないし、上内小学校で体験入学できますと書いてあったと思いますが、誰が対象なのかわからないので、大牟田市総出でこういうイベントを体験できますとやってみると、こっちの学校も面白そうという選択肢も多分増えると思います。そうすれば、複式学級の編制も見直しに近づくのではないかと個人的に思いました。</p>
委員	<p>教務のときから再編会議に参加させていただき、学校再編室の方が世の中の動きを見ながらたくさんの資料を準備して丁寧にされていて、それでも予測を超える急激な変化もあり、本当に大変だと思います。</p> <p>委員の皆さんも、いつも子どもたち、子どもの未来のためにという軸がぶれずに、みんなでその方向を向いて話し合いができていているということは、とても貴重だと思っています。</p> <p>いよいよ最後は吸収合併の方法もとらなければいけないとなりましたが、みんなで新たな学校を創るという文言もはっきりと残ったところが、子どもたちの一歩に繋がるのかなと思っています。</p> <p>定例校長会で再編後の中学校のアンケート結果を報告していただきました。もちろん不安があった子もありますが、その不安が軽減されていたり、楽しみを見つけていたり、概ね満足しているという結果が出ているので、子どもたちもやはり適応していく能力があるのだなと、その力を信じながら、大人がどこをサポートすればいいのかをこれからも考えて、笑顔で過ごせる学校づくりができたらと、この会議に参加させてもらって思いました。</p>
委員	<p>現在、甘木中学校と白光中学校で再編協議を行っており、新しい学校名案がもうすぐ決まると思います。その後、校章、校歌も決まっていますが、この資料を見て10年後にはまたこんなに人数が少なくなるのだなと。そうなったときに、本当に抜本的に大胆な改革を行わないと、何度も何度も再編協議を行うことになる。そういう点で、今回小川町を一旦外して考えるというのはなるほどと思いました。</p> <p>小学校の校区が変わって大きくなって、どの校区がどの中学校に行くという再編も含めて真剣に考えていかないと、10年ごとに再編し続けなければいけないという状況なのかなと思います。今回少し大胆な形でのご意見等が出ていたところになるほどと思ったところです。</p>
委員	<p>この会議に参加させていただき、大牟田の未来、子どもたちの未来をしっかりと考えないといけないとすごく実感しました。</p> <p>勤務する小学校は全学年1学級の小規模校です。子どもたちはとても素直で元気もあります。活気をしっかり持って学校運営していかないといけないと思いつつ、やはり1学級なので人間関係がある程度固まっています。隣の学級があったら、一緒に体育をやって競い合うとか、勢いをもっと出</p>



	<p>るかと思いますが、小規模校ということが若干デメリットだなと思うところもあります。当然良さも感じていますが、そういうところがうまくやれてないというか、もっとクリエイティブに考えていかないといけないなと思っているところです。</p> <p>私ごとですが、私は隣町の人間なので、母校は再編で4校から1つの学校になりました。それでも地域の人たちが途中まで送っていただき、途中からスクールバスで通学している姿をよく目にします。再編してしまうと地域コミュニティがうまくいかないという声も聞いたことがあります、そこはうまくしていただいているなといういつも感謝しているところです。</p> <p>ですので、この会議で検討いただいたことをしっかりと私たちも今後意識していかないといけないなと思っているところです。</p>
委員	<p>11月に入り、地域の防災訓練や地域のクリーンアップなどに子どもたちと参加することが増えて、地域で学ぶことが多いなど、学校では学べない学びが地域と一緒に活動することでたくさん学ばせてもらっているなど実感しています。</p> <p>大牟田の人口が減ったり、出生率が減ったりはどうしようもないことです、今いる子どもたちやこれからの子どもたちが大牟田を愛して、大牟田で活躍してくれる、そういう生徒を育てたいとこの会議を通して改めて思ったところです。</p>
委員	<p>皆様方とこのような会議でお会いでき、色々な話がお聞きできましたことを心より感謝いたします。</p> <p>大牟田の子どもたちのためにどうすべきか皆さんと考えて、大牟田の宝である子どもたちがよい環境の中で学ぶことができることが一番の願いです。</p> <p>再編、再編となると、子どもたちも教育委員会の方々も大変だと思いますが、今何をなすべきかを今回考えて、話し合いができたことを心より感謝いたします。大牟田の子どもたちがよき学びができますよう、今後ともよろしくお願いします。</p>
委員	<p>これまでの話で、子どもがだんだん減っていくという数字が出ていますので、夢だけをお話させていただけたらと思います。</p> <p>学校が再編されて、4校、5校が1校になった場合に、スクールバスの導入もいづれなされることと思いますが、前回先生も言われたように、できれば徒歩で通学することを私は強く望んでいるところです。</p> <p>私たちが子どもの頃は、違う学年の子の家も自然と覚えていました。この子のお母さんはこの人というのも、通学途中に自然と目や耳から入ってきていましたし、そういうことが、社会に出て子どもたちが色々な環境で対応できる能力にもなると思います。今の季節はこの花が咲いているというのも、目で見たり、においを感じたり、五感で感じるという発達もとても大切なことだと思いますので、できることなら、子どもたちは徒歩で学校に行って欲しいなと望んでいるところです。</p>
委員	<p>私は初めての参加でしたが、先生方の熱い思い、教育委員会の皆様方のご苦勞を改めて感じました。</p> <p>だからこそ皆さんの色々な思いが反映されるような再編というか、まちづくりをしていただきたいし、学校も全部同じでなくてもいいと思います。それぞれの学校の特色、新しい学校を作っていくのであれば、自分たちの学校はこうしたいという、子どもたちも本当に多様な子がたくさんいるの</p>

	<p>で、その子たちがここに行きたいと選んでいけるような環境もいいのではないかと思います。</p> <p>校区が変わると地域コミュニティが変わり、そうなる地域の皆様方の協力がとても大切だと思いますので、地域自体の再編というか、大牟田市をどういうふうにしたいのか、市のビジョンとかまちづくりについてもしっかりと行政と話を重ねながら、学校の再編を進めていかないといけないのかなと思いました。</p> <p>やはり子どもは国の宝で、子どもたちの環境は子どもたちそのものだと思います。その子どもたちの数が減っているということは、大牟田の未来にとっては危機的な状況だと思います。</p> <p>まだまだ諦めたくないなという気持ちもあって、少なくなるからどうしようもないというよりは、少なくならないようにどうにかするような施策も、みんなで知恵を出し合って、V字回復をしていけたらと思いますので、行政の方々にも頑張っていただきたいと思った次第です。</p>
委員	<p>この度は、皆様の地域に対する思い、学校に対する思いを聞かせていただき、大変学びになりました。</p> <p>私も色々なことを申し上げましたが、大牟田に学校が何校必要かというところで、やはり5校か6校ぐらい、中学校も小学校も数字的にはそれぐらいになると思っております。</p> <p>先生も言われましたが、今までは小学校と地域が一体となって、1つの小学校区に1つの公民館という根強い関係がありましたが、再編することで、やはり崩れてきています。大牟田にも地区公民館がありますが、そういう意味では、地区公民館に1つの学校という、それぐらい大きなエリアでの1つの学校になっていくということで、公民館にとっても大きな再編と感ずるところであります。</p> <p>私がPTA会長の頃に、上内小学校を残すか残さないかという論議がPTAの中でありました。私は、早く吉野小学校と一緒にあったらいいのにと感じていましたが、地域の方の強い反対で残ったということで、ただ、子どもたちにとっては、学校は集団教育の場で、先生方が言われるように、最低でも2～3クラスが必要です。学級同士の交流やクラス替えなど、色々なメリットがあります。もちろん少なれば目が届くという部分はあるかもしれませんが、学校は塾ではないので、そういう学びだけではない、色々な活動を通してというのが集団の力だと私は思いますので、ぜひ10年間ということですが、できるだけ早く、色々な予算取りもあると思いますが、夢を描けるような新たな学校づくりを掲げ、市民の納得を得られるようなビジョンを、絵を描いていただけたらと思っております。</p> <p>期待していますので、どうぞよろしくお願いします。</p>
委員	<p>大牟田中央校区で2回再編にかかわらせていただいています。平成27年が宅峰中学校、28年が大牟田中央小学校です。その頃はもっと児童数も多かったです。</p> <p>統計を拝見すると、6、7年先の生徒数は2,000人台です。今回の答申にもありましたが、大牟田中央小学校も宅峰中学校も対等合併でした。ただ、もう対等ではできなくなる状態だと私は思っております。</p> <p>クラスが12～18学級、1学年2～3学級となると、もう何校かしかりません。だから再編をするのであれば、思い切って地域を除いて、スクールバスを出すとかいう形で思い切ってやらないと、何回も再編を繰り返すと子どもたちが非常に困ると思います。私も孫が中学校、小学校に行ってい</p>

	<p>ますが、やはり子どもたちには、最適な生活環境で教育を受けてほしいという希望があります。先生方も大変だとは思いますが。</p> <p>子どもたちも2～3学級あると、クラス替えがあったり、友達もどんどん増えてくると思いますので、子どもたちのためにもなってくると思います。行政側も大変だとは思いますが、次の10年、また委員会を立ち上げるということですが、思い切った施策を打ち上げて、委員会で検討されていたらいいいのかなと思います。</p> <p>子どもが減るとするのは、目に見えている実態があるので、ぜひ、お願いしたいなと思います。</p>
委員	<p>今回は、小学校の再編整備ということで、思い起こすのは、平成の終わり頃、前職時代に宅峰中学校がスタートして、生徒さんの前で話をさせてもらう機会があったのですが、船津・右京・延命の3校の制服の生徒さんが講堂で入りまじって話を聞いてもらって、その風景だけでも先生方の苦労がしのばれるなと思いました。</p> <p>校長先生と話をして、あまり苦労話は言われませんでした。色々な刺激があって、新しい学校になるという意気込みを受け取ったことも覚えております。やはり変化に対応するのは簡単ではありませんが、何か生み出す機会でもあったかなと思います。</p> <p>私は田舎の育ちですので、小学校時代は全学年1クラスでした。というか、小学校は各学年1クラスだと思っていました。中学校に行くとかたくさんクラスがあって、田舎の中1ギャップみたいな状態になりましたが、小学校が複数クラスあることは、子どもの頃は知りませんでした。</p> <p>そのことと重なるかわかりませんが、よく少子化とか子どもの数が減っているとか、昔は生徒数が多かったとか話をしますが、今の子どもたちは今の数で大きくなってきているので、少子化というのが多分わからないというか、そういう客観的な物言いに、自分ごととして少子化をとらえられていないと思います。とらえる必要はないとは思いますが。</p> <p>子どもの数が減ったとか少ないというのは、私も教壇に立つ立場として、そういうことは言わない方がいいのではないかなと思った時期もありました。社会全体の今後のあり方を考えていくときに、減っていくという事実を子どもたちも成長に応じて実感させていくことは学びだとは思いますが、少子化は子どもたちにはまったく責任がないわけで、大人というか、これまでの社会を担ってきた者が今後考えていかなければいけないことだと改めて思ったところです。</p> <p>今日色々なお話の中にもありましたが、答申書にも「迅速な」という言葉が繰り返し出ていたと思います。これはとりもなおさず、もう間に合わないから早くやらないと、迅速な取組みが求められているということは伝わっているかなと思います。</p> <p>委員の皆様方から「抜本的な」とか「大胆な」とか「思い切った」と言われました。迅速なとか抜本的、大胆なというのがどういうことなのかを考えても答えは思いつきませんが、どうしても行政の、市の施策というのは後追いです。言い方は適切ではありませんが、問題が起こってそれに対症療法的に対応していくということになりがちですが、もうそれにも追いつかないでいる。学校の枠組みが追いつかないでいるので、再編してまた再編していくということは多分繰り返されるかと思いますが、ひとまず予測をして、問題が起こってからではなく、起こる前に取り組んでいくような施策の勢いというものがこの地域にも求められているかなと思います。</p> <p>また熊本地震がありました。防災教育というのは、ことが起こる前に</p>

	<p>そのときにどうするかを前もって備える教育だと思います。教育環境を整えることも、子どもたちにとって公平でない教育環境を生じてしまうことが予想されるのであれば、大胆に抜本的に先取りして、手を打っていくのが計画ではないかなと思っております。</p> <p>私は教壇に立ったときに、先輩の教員から「すべての生徒を我が子のように」と言われました。ただ、覚えておかないといけないのは、教員は、親御さんのように、我が子のように、どうしてもなれない。ただ、親御さんの思いに寄り添う気持ちを忘れず、教師をやりなさいということで、すべての子どもを我が子のようにということでやってきているところです。</p> <p>この全市的な再編整備が大牟田市や、大牟田に目を向ける市外の子どもたちや親御さんにとっても魅力的なものになりますよう願っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。何か言い忘れた、これだけはまだ言いたいと思われる方はいませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、全員で集まる検討委員会は本日をもって終了にしたいと思います。</p> <p>なお、答申書の提出につきましては、葉玉副委員長と日程を調整しています。答申日につきましては少し時間が空きますが、答申書の文言整理や修正等もありますので、お時間をいただきたいと思います。</p> <p>また、私が12月半ばまで所用がありますことから、大変申し訳ありませんが、12月18日木曜日に答申したいと思っておりますが、日程等についてよろしいでしょうか。</p>
全委員	異議なし。
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは最後に皆さんから何かございませんでしょうか。</p> <p>事務局から何かございませんか。</p>
学校再編推進室長	<p>7月30日の第1回会議から今日まで、委員の皆様、色々なお仕事等もありながら、昼間の会議にご参加いただき、ありがとうございました。</p> <p>様々な立場からのご意見、経験を踏まえてのご意見をたくさんいただいたところです。</p> <p>委員の皆様につきましては、12月18日の答申の日をもって、委員の任期が満了となります。答申につきましては、検討委員会を代表し、林委員長と葉玉副委員長のお2人で対応いただくことになりますので、他の委員の皆様は、当日ご参加いただく必要はありません。</p> <p>本日ご審議いただき、答申案に2点ほど修正が入りましたので、修正後の最終版を、答申後に皆様に郵送させていただきたいと思っております。その際に、本日の摘録につきましても、確認いただくために同封させていただき、確認後に公表させていただきたいと考えております。</p>
委員長	<p>以上をもちまして、検討委員会の審議を終了したいと思います。</p> <p>最後に少し時間をいただき、私と葉玉副委員長から一言ごあいさつを申し上げます。</p> <p>皆さんとは第1回の会議が7月でしたので、4か月間おつき合いをさせていただきました。「袖振り合うも他生の縁」と申します。このような出合いを大切にしていきたいなと思っています。</p> <p>ところで、今回の検討委員会では、先ほどから話が出ていますが、全市的</p>

	<p>な学校の小規模化、これに加えて近年の子どもの出生数の加速度的な減少という大変厳しい状況の中で、将来を見据えた小学校の再編計画のあり方について検討を行ってきました。</p> <p>これまで皆さんそれぞれの立場からの貴重な意見をいただき、本日、検討委員会としてのまとめを行うことができました。ありがとうございました。</p> <p>いただいた意見の中には、将来小学校を5、6校にと、大胆で具体的な構想の話があり、拝聴させていただきました。このことは、次回、予定では令和9年度に設置予定の検討委員会で、協議の柱になるであろうと思っています。</p> <p>皆さんの意見をいただく中、また先ほどの感想をお聞きしながら、教育に対する熱意や、子どもたちに対する愛情を感じることができ、大変うれしく思っているところです。</p> <p>本日をもってこの会議が終わりますが、大牟田市、あるいは大牟田市の教育について、引き続き温かいご支援をいただければと思っております。</p> <p>最後までつたない進行にお付き合いいただき、改めて感謝申し上げます。</p>
副委員長	<p>今年度初めてこの委員会に参加させていただき、先ほどの感想も含め、皆様熱心に活発に意見を出していただき、私自身も大変勉強させていただきました。</p> <p>学校規模、適正規模について、別の角度から思うところがあり、と申しますのは、東京のあるマンションが立ち並ぶような地域の小学校では、現在34学級でまだどんどん増える見込みで、数年後には現在建っている校舎では入らなくなるということで、第2校舎が別の敷地に建設される予定で、建設中は今ある学校のオープンスペースに仮教室を作って対応するということです。</p> <p>また学校行事では、運動会も全学年一緒には運動場が狭くてできないので、開会式は2学年、その後は1学年1時間ずつ運動会を行うと。その間、他の学年は普通に授業があり、普通に給食もあるという取組み、工夫をされていると耳にしています。</p> <p>子どもが増えることは本当に嬉しいことですが、対応するのに大変工夫したり、苦勞されているところもあるということで、子どもの数は、地域社会の様相も絡んできますので、地域の実情に合わせた子どもにとっての最適解を目指していくことが大事なのではないかと改めて思った次第です。ありがとうございました。</p>

### 3 閉会